

第4回 市民と議会の意見交換会

《報告書》



開催日 平成28年5月21日(土)
 5月26日(木)
 5月27日(金)

1. はじめに	1
2. 議長あいさつ	2
3. 意見交換会の概要	3
4. 参加者数とアンケートの結果	5
5. 意見交換会でのご意見・ご質問 Q&A	8
6. 各会場の様子	21

1. はじめに

東近江市議会の第4回目となる「市民と議会の意見交換会」に、多くの市民の皆さまにご参加いただき誠にありがとうございました。

東近江市議会では、開かれた議会をめざし、より多くの市民の皆さまのご意見を議会活動に反映させるため、意見交換会を開催いたしております。意見交換会では、平成28年度の予算審議の内容や議会報告に対し、参加していただいた市民の皆さまから各地区の様々な課題、道路・河川、教育・社会福祉、農業・観光振興、地域の活性化・まちづくり、議会などについて、多くのご質問やご意見をいただきました。

意見交換会において実施したアンケートの結果では、意見交換会の開催について、「評価する」が72%と、7割の方に高い評価をいただきました。また、議会報告会の説明については、「わかりやすかった」が75%、「わかりにくかった」が17%の結果でした。

意見交換会の継続を求める意見も多くいただき、アンケート結果等を踏まえ、今後の開催方法などについて検討し、より市民の皆さまに信頼され、開かれた議会となるよう取り組んでまいります。

今回の意見交換会の結果を報告書としてまとめましたので、市民の皆さまに報告させていただきます。会場でいただきましたご質問・ご意見について、各担当部と協議を行い、要旨として「Q&A形式」でとりまとめました。不十分な点も多々あると思いますが、ご理解を賜りたいと存じます。

なお、市民と議会の意見交換会に関するご意見・ご要望がございましたら、市議会事務局までお申し出下さるようお願い申し上げます。

平成28年9月1日

東近江市議会

2. 議長あいさつ

【開会にあたって 議長あいさつより】

市議会議長の周防でございます。昼間のお仕事でお疲れのところ、また、ご多用の中、第4回「市民と議会の意見交換会」に大変たくさんの方がご参加いただき、有難うございます。

また、平素は市議会に対しまして格別のご支援ご協力を賜り、重ねて厚くお礼申し上げます。

さて、一昨年、日本創成会議から、全国の地方自治体の維持が難しくなるという長期推計が発表されました。東近江市は、幸い消滅可能性都市からは免れましたが、若者が、あるいは子供が少なくなっているという現状はご多分に漏れないところでございまして、市の人口ビジョンでは、2040年には人口96,792人と予想されております。

これまでの議会において、学校の大規模改修や学童保育所、あるいは幼児施設の整備、医療費補助など子育て環境につきましては、若者にとっての魅力あるまちづくりについても含めて大変活発に議論させていただきました。

このような中で、国の地方創生戦略を踏まえた「東近江市まち・ひと・しごと創生総合戦略」、そして、昨年度より人口減少社会への挑戦といたしまして、2040年の人口約10万人を目標に数々の施策が実施されています。

また、中心市街地活性化や定住自立圏構想の策定、空家バンクの設置など、今年度予算では市もさらに本腰を入れてまいります。

議会といたしましても、品格ある議会をめざし、議員24名が議員の資質向上とともに市民の負託に全力で応えていきます。また、「議会の情報が市民の皆さまに届かない。市民の皆さまの声が議会や行政に届きにくい。」というご意見がこれまでもありましたので、この意見交換会を重要な場と位置づけて開催させていただいております。

市や議会の取り組みに対して、市民の皆さまの生の声を頂戴させていただきましたら本当に幸いと存じます。

限られた時間ではございますが、有意義な意見交換会となりますよう、皆さま方のご協力をお願い申し上げ、開会に当たりましてのご挨拶とさせていただきます。

3. 意見交換会の概要

1. 開催日時と会場

○平成28年5月21日（土）午後7時30分から

1班 玉緒コミュニティセンター

2班 蒲生コミュニティセンター

3班 やわらぎホール

○平成28年5月26日（木）午後7時30分から

1班 五個荘コミュニティセンター

2班 みすまの館

3班 永源寺コミュニティセンター

○平成28年5月27日（金）午後7時30分から

1班 愛東コミュニティセンター

2班 平田コミュニティセンター

3班 八日市コミュニティセンター

2. 班編成

1班 河並義一・加藤正明・鈴木重史・大橋保治・岡崎嘉一
山中一志・和田喜藏・戸嶋幸司

2班 西澤善三・大洞共一・田郷 正・周防清二・村田せつ子
竹内典子・市木 徹・西崎 彰

3班 寺村茂和・野田清司・横山榮吉・畑 博夫・北浦義一
杉田米男・西澤由男・安田高玄

3.内 容

(1) 開会

(2) あいさつ 議長、副議長 または 議会運営委員会委員長

(3) 議会報告と議会説明

- ・パワーポイントを利用し、議会の現状や平成28年度予算の内容、各地区の課題などについて説明を行いました。

①議会の現状について

…議会の編成や委員会の説明、議員の活動状況などについて説明しました。

②平成28年度予算について

…合併後の一般会計予算額の推移等を示しながら説明しました。

③各常任委員会からの報告

…それぞれの委員会で審議した主な予算について、細かく報告しました。

④各地区の課題について

…それぞれの地区で課題とされる問題について、議会の取り組みや考えを報告しました。

(4) 意見交換会

参加された皆さまからのご意見・ご質問等をお聴きするとともに、議会へのご意見については、会場でお答えさせていただきました。

市や県に対するご要望や、アンケートにご記入いただいたご意見につきましては、報告書を作成し、コミュニティセンター、図書館等に配置します。また、市ホームページでも公開します。

(5) 閉会

4. 参加者数とアンケートの結果

市内9会場で296人のご参加をいただきました。(昨年度は323人)

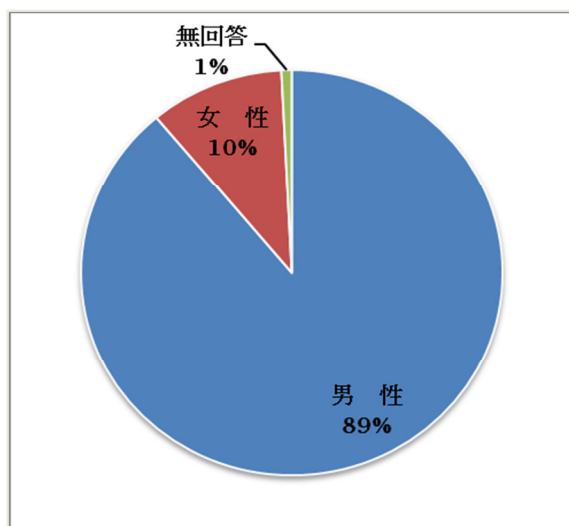
開催日	5月21日			5月26日			5月27日			
会場名	玉緒 コミセン	蒲生 コミセン	やわらぎ ホール	五個荘 コミセン	みすまの 館	永源寺 コミセン	愛東 コミセン	平田 コミセン	八日市 コミセン	計
参加人数	25	39	38	39	27	42	36	25	25	296人
アンケート 回答数	19	32	33	36	24	32	33	20	23	252人
回収率	76.0%	82.1%	86.8%	92.3%	88.9%	76.2%	91.7%	80.0%	92.0%	85.1%

○参加者区分

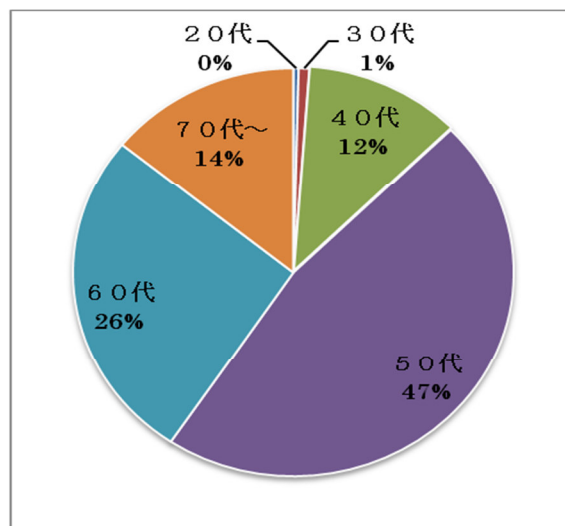
参加者の89%を「男性」が占めました。年代別では、「50代・60代」が合わせて73%になっています。

一方で、昨年に引き続き「女性」や「20代・30代」の参加率が下がりました。開催時間や周知方法を改善する必要があると考えます。

男女別



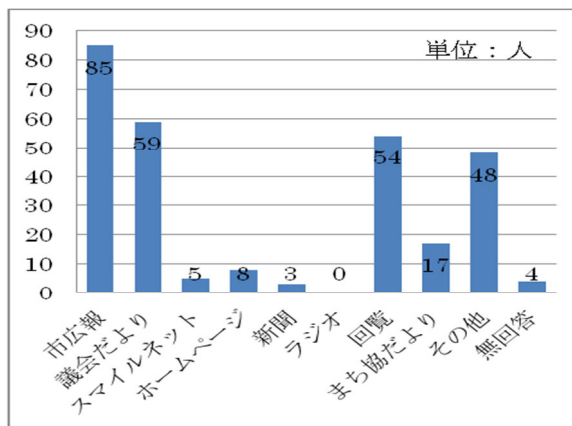
年代別



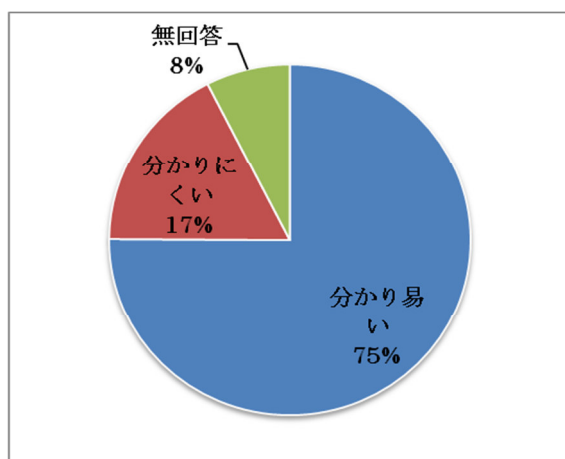
○開催情報は何かから得ましたか(複数回答あり)

全体のおよそ3分の1の方が「市広報」を見ての参加という結果でした。準じて、議会だよりや回覧、まち協だよりなど、紙面での広報が有効であることがうかがえます。

そのほか、自治会長や議員の声かけによりお越しいただいた方もおられ、口コミも重要であると考えます。



○パワーポイントでの説明は



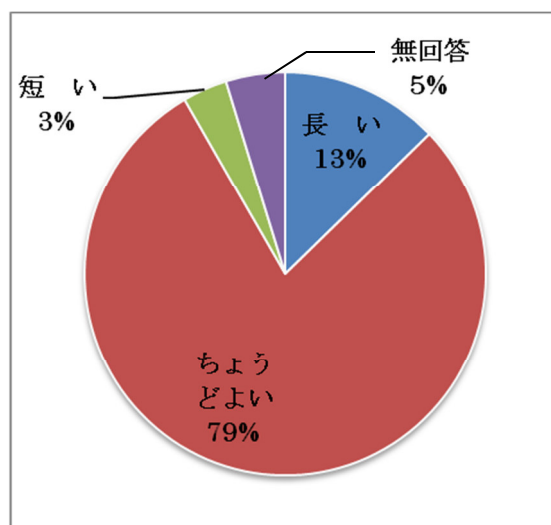
回を重ねるごとに改善した結果、わかりやすいものが提供できました。

しかしながら、『説明が聞き取りづらい』『説明が早い』『各委員会資料を統一すべき』などのご意見もあり、パワーポイントを利用しての説明に対し、さらなる改善が必要であると認識しております。

○説明時間は

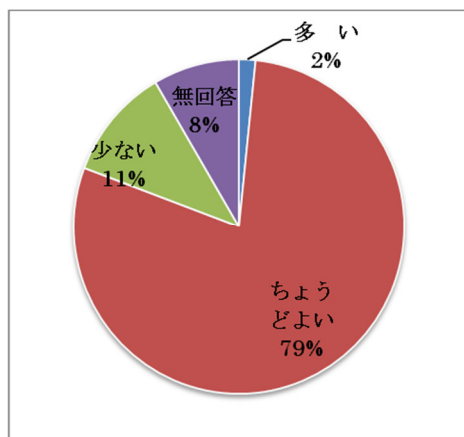
30分の説明と1時間の質疑応答という形での開催に対し、多くの方から「ちょうどよい」との回答がありました。

『回答がダラダラ長い』や『特別な事項には、補足説明を入れてほしい』などの要望もありましたので、次回に反映させていきたいと考えます。

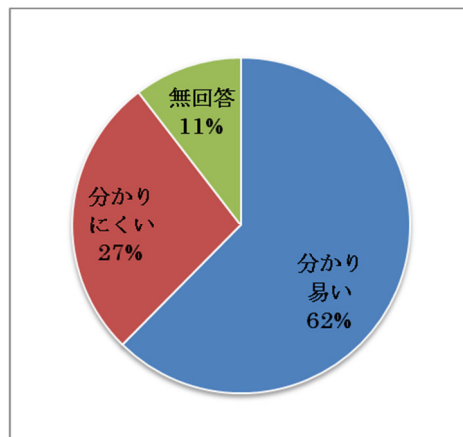


○配布資料の量・内容は

量

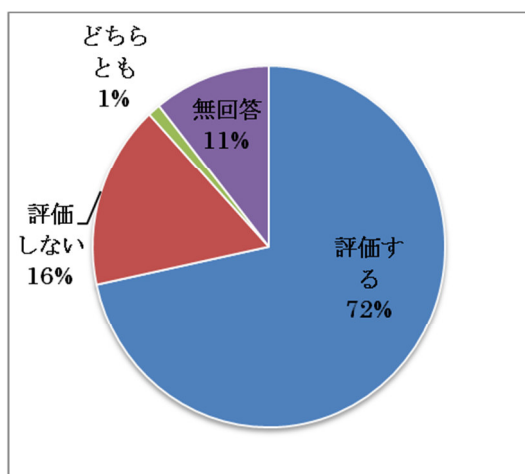


内容



量について「ちょうどよい」、内容について「分かりやすい」とのご意見を多くいただきました。しかし、内容について「分かりにくい」と答えた方の中には『予算額について、口頭説明だけでなく資料への記載を』とのご意見を多くいただきました。

○意見交換会の評価は



4回目となり、多くの参加者の方に評価をいただいた一方、「評価する」の数値が下がったことは真摯に受け止めております。

今後は、このアンケート結果をもとに、さらなる向上を目指していきたいと考えます。

アンケートへのご協力、ありがとうございました。

その他、意見・要望など(一部抜粋)

- せっかくの開催なのに参加者が少ない。広報に力を入れるべき。
- 子育て中の親、農業者、高齢者など、分野別に意見交換会をされてはどうか。
- 小地域（自治会単位など）での開催を希望する。
- 合併10年、夢のある市にするには？というような前向きな意見交換会に。
- もっと市民の声を聞き、その中から必要な施策を見出して具体化してほしい。

5. 意見交換会でのご意見・ご質問 Q & A

9会場で（アンケート含む）いただきましたご意見・ご質問の中から抽出した事項について、回答を報告いたします。（要旨をまとめ、補足説明を加えていますのでご了承ください。）

[道路・河川・水道関係]

Q 集落内で床下浸水することがあるが、小さな河川改修はどうなっているのか。

A 平成25年9月の台風18号豪雨によるものと認識していますが、自治会から市政要望として市に要望していただき、議会としても内容を把握して、早期の実現に向けて取り組みます。

Q 旧大凧まつり開催時に、会場整備のために土砂の嵩増しをされたが、このままでは土砂が流され下流の河床が高くなるので、愛知川の浚渫が必要ではないか。

A 東近江土木事務所では、河川の状況を経過観察して、必要であれば修復等を実施することとしています。議会としても状況を把握し、適切な要望をしていきます。

Q 河川整備ですが、国や県への要望は。

A 市議会においても「河川整備推進特別委員会」を平成26年度に設置しており、特に市内における一級河川の整備促進について国や県に強く要望しています。

Q 御河辺橋の修繕、架け替えをすべきである。

また、本市は愛知川で分断されているので、防災や経済の面からも愛知川に橋を増やすべきである。

A 御河辺橋は県下でも古い橋梁のひとつであるとともに、重量制限や幅員の狭さが問題であることは、承知しています。現在、愛荘町を起点とした県道雨降野今在家八日市線が事業化検討路線に上がっていますが、検討路線であり、工事が決定しているわけではありません。平成29年度に滋賀県道路整備アクションプログラムの見直しが行われますので、その中で検討路線から工事を決定して、事業路線に格上げになるように要望していきます。

新しい橋梁については、能登川地区神郷町あたりの愛知川に橋を架ける予定があると聞いています。

Q 要望を出している道路の進捗状況の説明を求める。

①中里山上日野線の大林地先の歩道橋設置。来年4月に完成予定だったのでは。

②外町バイパス

③中戸大橋の歩道

A ①次年度6月末に完成予定となっております。

②滋賀県道路整備アクションプログラムの事業化検討路線に上がった状況です。粘り強く要望を出していきたいと思います。

③滋賀県道路整備アクションプログラム2013の整備路線とされており、今年度から工事が実施されます。

Q 垣見隧道の工事進捗状況について

- ①今期予算が減額したが、大丈夫なのか。
- ②来期予算は付くのか。工事の遅れが出ないのか。用地買収（確保）は進んでいるのか。
- ③工事総額は。

A ①今期は交付金が減額されましたが、平成31年度完了を目指すと聞いています。

②来期予算も国に要望し、工期の遅れが出ないように、また用地買収についても市の担当部局が対応に当たっています。

③34億円で、今のところ国の交付金のみですが、県に対しては補助金を強く要望しております。

Q 建部地区の県道・歩道整備については、やっと測量を始めると聞いたが、どうなっているのか。

A 主要地方道栗見八日市線（建部工区）の歩道整備については、滋賀県道路整備アクションプログラムの中で事業化路線とされており、昨年度に地形測量を実施され、今年度に予備設計業務を発注されます。

Q 水道料金の統一は結局料金値上げでは。チラシには、料金統一としか書いていないが、値上げをしての統一であるとはっきり書くべきでは。

A 八日市地区は値上がりになり、もともと料金が高かった蒲生や能登川地区は下がることから、値上がりになる地区の人にとっては、ご指摘のとおりです。そういう意見があったことを市に伝えます。

Q 旧愛知郡の水道料金の方が安い。愛知郡から水道を買えば安くなるのでは。合併して10年が経つので、そろそろ統一すべきでは。

A 旧愛知郡とは事業体が異なり、愛東・湖東地区は、愛知郡水道事務所の管轄となっています。合併後も様々な協議がなされてきましたが、水源池の違いなどもあり、現時点での統一は困難と聞いています。

Q 永源寺地区の水道料金について、農村下水道・上水道など、不公平感があるが。

A 各地区の事情があるのは認めますが、水道料金の統一や、農村下水道の維持管理についてご理解いただきたい。永源寺地区の農村下水道から公共下水道への接続も検討していると聞いていますが、まだまだ時間がかかるようです。

[医療・社会福祉関係]

Q 高齢化社会が進み、介護疲れによる事件等が起こる中、介護の面での老人対策はどうするのか。もっと老人対策に焦点をあてるべきではないか。

A 健康寿命を延ばしていく事、予防対策をしっかりとする事の議論をするとともに、健康を維持できない方の施策としても、施設の充実や在宅介護支援など、きめ細かな福祉の充実に向けて要望していきます。また、相談がしやすいように、地域包括支援センターの職員が各支所に配置されております。

[教育・子ども子育て関係]

Q 本市から一流のスポーツ選手を創り出せるように、体育施設の充実など体育行政に力を入れるべきでは。

A 2024年に国体開催が内定しており、施設の改修等を含めて議会では議論しています。

Q 小学校の登下校の安全対策は。スクールガード、通学路が不十分で他市町に比べて遅れている。学校施設の耐震化と同様に通学路の安全対策も一生懸命取り組んでほしい。

A 通学路の安全対策につきましては、早期に図られるよう議会として全力で取り組みます。

Q 市内給食センターの地元産食材の利用はどれぐらい進んでいるのか。

A 米については、市内産の環境こだわり1等米コシヒカリを100%使用されています。野菜については、平成27年度が21品目で43.8%となっています。今後も更に地産地消を進めるよう、働きかけます。

Q 草津市や湖南省はイクボス宣言をしているが、東近江市はどうするのか。

A 本市も宣言できるように働きかけます。

Q 学力については、本市は県の平均より低いと聞いているが、学力向上のための施策はあるのか。

A 各学校で、弱い部分や傾向などを分析し、対応されているところです。

また、議会では、全国学力テストの上位県を視察研修し、良い取り組みなどを市内の学校でも参考にするよう働きかけます。

Q 東近江市の待機児童の状況や対策はどうなっているのか。

A 待機児童につきましては、その原因である保育士不足が全国的な課題となっており、本市では、保育士確保に全力で取り組まれるとともに、認定こども園整備など園児等を受け入れるための施設の整備を進めています。

[農業関係]

Q 獣害対策について

- ①五個荘地区のイノシシによる獣害対策はしてもらえないのか。
- ②ニホンザルの被害が増えてきた。農作物の被害は言うまでもなく、民家に入って冷蔵庫を勝手に開けたり、屋根に上ってアンテナや避雷針を曲げる等の被害が増えてきたが、対策は。

A ①市全域で地元猟友会のご協力により、銃器やわなを利用した有害鳥獣の捕獲活動を実施されています。また、地元自治会や農業組合からのご要望があれば、予算の範囲内で地域のご協力により、侵入防止柵や電気柵の設置、緩衝帯の整備など、人と獣との棲み分け対策も実施されています。

イノシシ等の有害鳥獣による農作物被害や生活被害が、市内特に里山の麓でも発生していることは把握しております。

五個荘地区の被害を把握したうえで、対応に取り組むよう要望していきます。

②特に加害レベルの高い群れについては、個体数調整として大規模捕獲も実施されています。

上記対策に加えて行う花火による追払い活動も効果的です。

[地域の活性化・まちづくり関係]

Q まちなか創生（人口減少対策）について

能登川地区は、道路整備を含め住宅地が少なく、住みたくても住めない状態である。市街化区域の見直しをしてほしい。

A 現在策定中の立地適正化計画により、居住に適した区域等の調査を行い、このようなデータを基礎資料に、他法令との調整を行いながら、市街化区域の拡大に向けて県と協議されているところです。

Q 地域おこし協力隊の活動についての報告の場はあるのか。

A 東近江スマイルネットやNHKにおいて事業紹介や報告がなされています。先日、永源寺地区の地域おこし協力隊の報告会がありました。また、協力隊個人がフェイスブックなどのSNSを利用しながら活動を発信しています。これらを踏まえ、行政がどのように発信していくべきかを議会としても提案していきます。

Q 婚活イベントに200万円の税金が投入されることになっているが、議会はどう考えているのか。

A 結婚を意識しない若者が増えてきており、結婚が成立しにくい時代です。経済対策も絡めて考えないといけない問題ですが、結婚が出来る土壌作りの手段のひとつとして有効な施策であると考えています。

Q 企業誘致も含めた蒲生S I Cを利用した施設の検討や、リゲインハウス予定地であった土地の活用は考えているのか。

A 農地法の絡みがあってなかなか進みませんが、まち協を中心に空き地を利用して龍谷大学と連携し、農業振興を始められています。リゲインハウス予定地であった土地は、大半が県及び県土地開発公社の所有であり、具体的には動いてはいないと聞いています。同地は市街化調整区域にあることから開発行為については厳しく規制されており、すぐに建築物を建築することができませんが、有効活用されるよう県に要望しているところです。

Q 八日市駅前にホテルが建つことについて、税金を投入されるとのことであるが、議会においてどのような議論があったのか。

A 宿泊施設の誘致については6月・12月・3月議会でも相当議論を重ねてまいりました。人口減少の状況のもと、厳しい地方創生を勝ち抜く施策が必要であり、総合戦略の中で交流人口を増やすための1つのツールと考えられますが、宿泊施設を誘致するために、どこまで市としてできるかという協議を続けた結果です。

Q ちょこっとバス・タクシーの利用が少ないようであるが、もっと効果的な施策はないのか。他の自治体の状況も参考にして検討したらどうか。

A ちょこっとバス・タクシーは今後見直される予定です。運行の仕方を検討し、議論しています。

Q 中心市街地活性化について、なぜ八日市中心に予算がつき込まれるのか。周りの地区の活性化はどうなるのか。

A 市の発展にはまず市の核を構築する必要があります。そのため、古くから交通結節点であり人の中心的役割を担っていた、八日市駅周辺を核とした中心市街地の活性化を図り、賑わいを取り戻すことが肝心です。そのことと連携を図りながら、各地区の活性を図るという全体構想の中で取り組まれています。

Q 町並み保存について、まち協では中山道街道復活プロジェクトチームも立ち上がったが、どう進むのか。まちの噂では街道沿いの空き家に不動産業が入り開発を進めようとしていると聞いた。そうになると、文化の継承ができなくなるのではないか。

A 無くしてしまえば二度と戻らない大切な文化遺産なので、街道保存に向けて街道サミット開催などを県に要望するなど、しっかりと取り組んでいきます。

[その他]

Q 都市公園の中でも、船岡山公園は、万葉集に出てくる「ムラサキ」他多くの草花が咲いていたが、今は枯れてしまっている。県外からの観光客も多く訪れるので、草刈りや葉刈りだけでなく、補植や土壌改良などをして、草花の管理もするべきでは。

A 万葉の森船岡山公園は、万葉文化を記念するために整備された公園で、公園内には、蒲生野に咲き乱れていたとされる「ムラサキ」の花をはじめ、万葉集で詠まれた植物約100種が植えられた万葉植物園があります。

当初植えられた植物も枯れて無くなっているものも少なくないという状況ですので、植物園としての機能を維持できるよう、指定管理者や賛同される団体との協働により、補植するなど管理を行うよう要望していきます。

Q ここ数年増え続けている市債残高を財政計画上どう考えているのか。

A 東近江市の財政状況を鑑みたくえで、合併特例債や地方創生に係る交付金を有効に活用されています。市債の発行に関しては慎重にされています。

Q 街灯のLED化補助事業については、まだこれから取り組む自治会もあるはずなので、実情に合わせて延長して頂きたい。

A 全市でのLED化を進めていますので、補助事業として継続するよう要望します。

Q 夏の参議院選挙から投票所が激減し、投票する人が減るのではないかと
思うがどうか。

A 議会の議決事項ではなく、選挙管理委員会の専決事項ではありますが、冷暖房
設備やバリアフリー、駐車場が整っている等の条件に当てはまる施設で、半径
3 k m以内で投票できることを原則として見直された結果です。

選挙後に問題点等がなかったかを検証し、その結果により、また見直しをす
ることもあると聞いています。

Q 湖東・愛東地区のゴミ袋の料金が低い。市民に公平になるように値段を統一
すべきでは。

A 一部事務組合によって生産枚数が異なっているため、一枚当たりの単価が他
の地区と比べてかなり違うのが現状です。組合には、もう少し料金の差がなく
なるように要望します。

Q 愛東地区ではゴミの分別に力を入れているが、他の地区では愛東地区ほど分
別をきっちりしていないのでは。

A 他の地区でも段ボールコンポスト事業などに取り組み、ゴミの減量に努めて
います。しかしながら、未だ十分な普及には至っていないので、今後も啓発に
取り組めます。

Q 湖東・愛東地区が使用する斎場は、今後どうなるのか。

A 瓜生津町にある布引斎苑を改修（平成30年度に完了予定）しています。完了後は、湖東・愛東地区の住民も、そこを使用されることになります。

Q 4月に女性活躍推進法が施行されたが、女性の活躍推進についてどのように考えているのか。

A 女性が管理職につきやすい環境について議論を進めるなどしています。男女共同参画社会を目指して条例も制定されましたので、このことも周知していきます。行政も、現に活躍している女性を講師に招いての女性セミナー等を開催すると聞いています。

6. 各会場の様子



玉緒コミュニティセンター



蒲生コミュニティセンター



やわらぎホール



五個荘コミュニティセンター



みすまの館



永源寺コミュニティセンター



愛東コミュニティセンター



平田コミュニティセンター



八日市コミュニティセンター

編 集：市民と議会の意見交換会運営委員会

委員長：北浦義一 副委員長：河並義一

委 員：杉田米男 大橋保治 竹内典子

 安田高玄 西崎 彰 戸嶋幸司